

さい



昭和四十七年七月十八日佐井村議会
定例会に於て決定された佐井村章

村名の題字「さい」を近代感覺的に凶案化した
もので、村民の融和と団結を太い円形で表わ
し、さらに産業文化など佐井村勢の飛躍的発
展を飛鳥の姿で象徴させました。

大野新市郎氏(44才)

福井県大飯郡大飯町本郷

8月

各部落で「海の記念日」祝う

長後では長後橋の渡り初め

二十日は「海の記念日」原田、磯谷、長後、福浦、牛滝では、部落あげて祝った。磯谷では、弁天島で大漁祈願をしたあと、漁船をつらね沖合の大漁島で海上安全、大漁祈願をしたあと、磯舟のこぎ競技がおこなわれました。原田、福浦、牛滝でも海上安全、大漁祈願をしました。

長後では、四十四年の災害でこわれた木橋を、三百四十二万八千円で永久橋にかけかえる工事をし祝賀会に移りました。



長後橋渡り初め
滝本キエさんと石沢議会議長

恵まれない条件にありながら新しい知識の吸収に意欲を燃やし高校を卒業して立派な後継者になるうと頑張っている牛滝、福浦の若人を紹介します。

佐井村の通信教育生を訪ねて

—のぞまれる宿泊施設—

◇みちの奥のみち

あきらめの旅ではあつた

磯の先の 白い灯台に

日がさしていた

果てもない空の青と海の藍の中に、小さな灯台の白がまばゆく映える大間崎。

長い海岸線をバスにゆられてきた私は、ふと鳴海要吉のこの歌を思い出した。

明治四十年、佐井小学校訓導として赴任の旅を重ね、ようやく辿りついた若き日の要吉（黒石の歌人）にとつて、岬の灯台はさまざまな感慨をよびましたことであつたらう。

さて、今日は六月一日、朝から快晴にめぐまれ、大間と佐井街道いっばいに初夏の日差しが降り注いでいる。

野辺地から終点の佐井まで汽車とバスで三時間、さらに目的地の牛滝までタクシーで一時間十五分の道のりである。

佐井の村役場に立ち寄り教育次長、今修一氏の案内で、倉本先生と三人、大型タクシーに乗り込んだ。

やがて、津軽海峡をのぞむ荒々しい海岸段丘や、懸崖、急峻な山岳地帯を縫うようにして走りつづける。この道は、四二年、海岸林道が開通するまで、いわば「けも道」同然のものであつたらしい途中の福浦から、一年次生の田中徳康、田中久次郎の両君を拾い牛滝に着いたのは午後五時。

海岸沿いの狭い道路をはさんで家々がひしめき合い、舟小屋の屋根にまでコウナゴが干されている。僅か五十八戸の、海峡にへばりついてたような、ひなびた部落である。

◇いその香をのせて

ここには四年次生の坂井恵美子さんをはじめ、二年次生の山本松江さん、坂井幸子さんの三人がいる。小さな郵便局があるが、その裏手の「つばめ旅館」に全員集つてもらい、すぐ学習に入ることにする。

男子二人は倉本先生が体育を、女子三人は隣室で私が日本史、世界史の学習を受けもつことになつた。レポート中心の複式学習である。

よわい夕日がさす窓をあけるといその香をいっばいに乗せて潮風

が吹き抜けていった。

七時すぎ、十五分間ほど戸外に出て体育の実技をやつたあと、教委の今さん、坂井さん（幸子さんの父君）をいれての話し合いに入る。菓子などを並べたり、お茶をサービスするなど、今夜の生徒諸君はうきうきしているようだ。

人と人との出合いや、心のふれ合いが、このような歓びではじまつたことの仕合せを、私はしみじみと感じたことである。

◇期待につつまれて

福浦の男子組と牛滝の女子組とは、はじめての顔合せだったらしいが、すっかり気分がほぐれてしまつたようだ。

みるからにガキ大将らしい田中（徳）君、漁師であり商店主でもある親父（村会議員）のあとを継ぐつもりだ、と胸を張る。得意なスポーツは剣道、好きな学科は理科。

同じ一年次生の田中（久）君はいま漁師と土方を兼ねているという。好きな科目は、と聞くと、すかさず、数学と英語ノとさわめて明快。ホントかいーと茶々を入れ一同大笑い。

さて女子組の山本さんは郵便局勤務四年のハキハキと明るい性格一方、坂井（幸）さんは、ちよつとおとなしく、漁家の一員としてりっばいに両親を助けている初々し

い感じの人。

いちばん年長の坂井(恵)さんの静かで、さすがに姉さんらしく思いやりの深い人柄のようだ。

いまは母娘二人だけになったので、酒店の作業にキリキリ舞いの毎日を過ごしているらしい。

彼女ら三人はむろんのこと、佐井村の通教生が、ここ十数年、絶え間なくつづけてこられたのは、なんとといっても村当局の温い親心が大きな役割を果たしている。

牛滝と佐井の往復タクシー代が五千円。佐井・野辺地間を含めると、宿泊費を除いても毎回六千五百円の出費である。年間二十回ほどのスクーリングに参加するこれらの費用の半額を村が援助してきただけだ。

—— 敗政は苦しいが、これからも継続するよう理事者にお願ひしてみるつもりだから、しっかりと勉強してほしい、という今さん—— 長年、通教生の、蔭になり日なたになつて励ましてきた人の言葉を私たちは有り難く聞いた。

◇ 山本(幸)

年中、はたらきどおしの自分たちにとって、スクーリングの日がいちばん楽しい。ただ、授業途中で帰らなければならぬから、友だちが少なくて——としよんぼりする彼女たち。

辺地の彼らが気軽に宿泊する施設があつた——と考えただけで、私の心はギリギリと痛むよくな気がした。

夜もだいたい更けた。明け方までつづくという漁船のマイクから流れる民謡をききながら、一同おそい夕食をとる。楽しく、心豊かな夜であった。

翌日の午後、牛滝の浜は砂も焼けるような強い日がさしている。はしけから乗り換えた青森行きの定期船が走りだしても、浜辺に立

つ坂井恵美子、幸子の両君は、いつまでもいつまでも手を振っていた。

山本さんは郵便局のあの窓口で、田中君らは風いだ初夏の海峡で、それぞれ懸命に働いている頃でもあろうか。

空と風と海の空間に、私たちの心と心が一瞬かよい合ったような気がした。

〈野高通信第二九八号から〉



通信教育生の前列右側から田中(徳)、田中(久)君 後列右側から山本、坂井(幸)、坂井(恵)さん。

自然公園内の植物の保護について御協力を!!

いうまでもなく自然公園はすぐれた自然の風景地を保護すると共にその利用の増進を図り、国民、県民、村民の保健、休養及び教化を助けることを目的として設けられているもので、最近自然公園を訪れる人達の中で、公園の区域内の植物を折つたりあるいは踏みつけたり、はなはだしい場合はこれを盗採して持ち帰る人が出て来ています。

いよいよ行楽の季節となり自然公園の利用もこれからますます増加することと思われまますので皆さん、一人一人に自然を大切にすることを養つていただかなければその目的を達することができないと思われまます。

以上のように自然公園を利用する場合はその適正利用に心がけて特に自然公園内で植物の枝を折つたり貴重な高山植物を踏みつけたり掘つて持ち帰つた方々を発見したら御手数数でも、役場産業経済課までお知らせ下さるよう御協力をお願いいたします。

ゆっくり待つて

さつさと渡る

人権擁護委員とは

「人権の番人」ということばを知っておりますか。

それは、法務大臣が委嘱した人権擁護委員であります。

人権擁護委員は、わたくしたちの人権が侵されないように監視もし人権が侵された人がいた場合には相談相手になってこれを救済したり、人々の間に正しい人権の考え方を広めたりします。

人権問題にかぎらず相談したいことをお持ちの方は、早速次の方の方のところをお尋ね下さい。

- 樋口 秀次 (古佐井)
- 石沢 みき (古佐井)
- 若山 弥一郎 (黒岩)

個人住宅建設資金

住宅改良資金の

借入申込み受付中!!

住宅金融公庫では五月から昭和四十七年度の個人住宅建設資金、六月から住宅改良資金の借入申込みを受け付けております。受付期間は、住宅資金のみの場合五月十五日から九月三十日まで、住宅改良資金貸付は六月一日から十一月三十日までです。くわしくは役場建設課建築係までおいでください。

選管だより

七月十四日、佐井村農業委員会委員選挙は、無投票となり、次の方が当選されました。

住 所	氏 名	住 所	氏 名
佐井字大佐井82の1	奥本 文男	佐井字原田番外地	加藤長治郎
字黒岩番外地	奈良兼太郎	字磯谷227番地	横濱 清
字矢越55番地	川畑徳次郎	字川目三番地	川谷 繁雄
字古佐井29番地	太田高五郎	字原田61の14	高橋 利幸
字糠森131の5	長後 雄二	字原田49番地	万谷 増夫
字大佐井川目14の2	樋口 忠義	字原田七番地	佐藤 良一
字原田3番地	池田 保雄	長後字野平240番地	佐藤 忠夫

佐井村農業委員会組織会終る

七月二十日、役場二階で開かれた農業委員会組織会に於て、左記のとおり決まりましたので、お知らせします。

職 名	氏 名
農業委員長	奥 本文男
会長職務代理者	高 橋 利幸
県農業会議員	高 橋 利幸
部長	万 谷 増夫
農政部会 部長	加藤長治郎、太田高五郎、横浜清、佐藤良一
農地部会 部長	池 田 保夫
農地部会 部長	奈良兼太郎、長後雄二、川畑徳次郎、川谷繁雄
樋口忠義	

夏の防犯運動

楽しいレジャーの季節がやって来ました。暑さのため山や海への避暑、夏祭り、納涼大会のため夜の間の外出等で家をあける機会が多くなるのと同時に、生活が開放的となつて気がゆるみがちとなります。このようなときに、ちよつとした油断から大きな被害を受けることがあります。また、子どもたちも長い夏休み、解放感から非行に

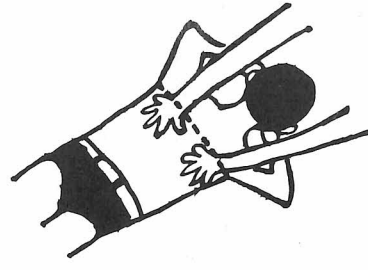
走るなど、気のゆるみからいろいろな事件や事故がおこりやすくなります。そこで、防犯協会では警察と協力して楽しい夏を過ごしていただくよう、夏の防犯運動を行なっています。みなさんもこの運動に地域ぐるみのご協力をお願いします。

人工呼吸のしかた

太陽の季節、水泳シーズンがまわりました。今年もまた水の事故が多くなつて来ました。水死事故にそなえ、みなさんにも知ってほしい人工呼吸のしかた(ニールセン式人工呼吸法)を紹介いたします。

患者をうつぶせにして、両手を重ねさせ、その上にアゴを乗せ、救助する人は、片ひざをついて、患者の頭の方から患者に向かって正対し、左の図の要領で一から五までの動作を一分間に十回から十二回(幼児の場合は二十回、児童の場合は十五回)の速さで行ないます。

このように線にのすんだ線にのすむをおく。むき下をわきに両手に



ワン(第1姿勢)の動作
まず患者の背中に両手を置く。



ツー(第2姿勢)の動作
腰をあげて腕が垂直になるところでとめる。



スリー(第3姿勢)の動作
自分の体をうしろにもどしながらおさえた両手をはなす。



ワン(第4姿勢)の動作
患者の両ひじの付近に両手をかける。



ツー(第5姿勢)の動作
せうと後方に引き患者の胸かきを開く。



保健婦だより

お母さんの知りたいたい 赤ちゃんの健康相談

一、湿疹

イ、汗ばまないこと……厚着や暖房は必要以上にならないこと 汗ばんでいたら着物やふとんを一枚少なくする。

ロ、汗をよく吸いとれるように……下着は木綿地のガーゼかさらしがよい。合成繊維や毛のもののはさける。

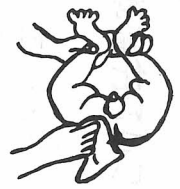
ハ、入浴……ひどい湿疹でなければ入浴してよい。石けんは中性石けんを用い、こすらないで、たたくようにして洗う

ニ、おむつかぶれ
イ、おむつをかえるたびに、むしタオルでよくふく。

ロ、お尻を日光によくあてる。



ハ、夏は一日二回ぐらい入浴させる。



二、お尻をきれいにし、乾燥させたベビーパウダーをふる。



ホ、おむつを日光で乾かす。日光にあてられない日はアイロンをかける。



ヘ、防水したおむつカバーはやめて、通気性のよい毛織物のカバーにする。

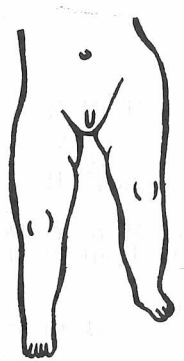


三、股関節が硬いといわれた

(股関節脱臼)

イ、生後五カ月までに治療を開始すれば、数カ月でなおることが多い。歩行を開始してか

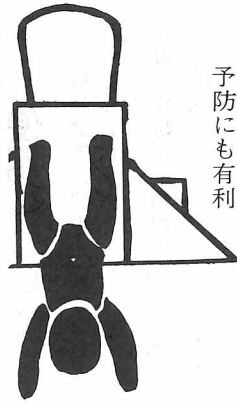
らでは相当日数がかかる。



ロ、正しい診断はレントゲン検査が必要。



ハ、三角おむつは股関節脱臼の予防にも有利



四、吐乳について

こんな場合はすぐ医者に

イ、噴水のように、お乳を吐き

機嫌がわるく便秘がちで、体

重増加もよくない場合。

ロ、一般状態がわるく、下痢、

発熱があったり、たえずむず

かる時、吐物の中に緑色の胆

汁や、コーヒーカーのような

物がまじっている時。

ハ、お乳をのんだあと、口から

ダラダラ出すのを溢乳とい

あまり心配はいらない。

二、哺乳後はダッコして背中を

軽くなせて、必ずゲップを出

国民年金の

納付組織について

(両佐井)

国民年金は恩給の恩恵を受けない人の老後の生活安定を目的とした所得保障制度であります。この制度には強制加入と任意加入(国民年金以外の年金制度から年金を受けられる人及びその配偶者)とに別れておりますがこの年金に加入している人の毎月の保険料を集金する納付組織が婦人会の御協力によりできました。七月から集金することになりましたので集金員が伺いましたら何分よろしく納付方お願い致します。

納税者のみなさんへ

納期限内の自主納税

にご協力下さい!!

◎自主納税を進めます。

皆さんが、自ら進んで県税を納期限までに、銀行、郵便局、または県税の窓口へ完納するように、御協力をお願いします。

◎臨戸徴収はいたしません

県税の滞納がありますと、これまで、毎戸にお伺いして徴収するやり方をしてきましたが、今年

からは、このような方法を改めることにしました。

なにかの事情で納期限までに完納できない方は、気軽に当事務所か役場民生相談課においてのうえ納税方法等について、ご相談ください。

◎個人事業税——一期分は毎年八月三十一日の納期限です。

◎不動産取得税はその都度指定された納期です。

むつ県税事務所

交通安全教室

道路ではいけないこと

(1) 道路上で次のことをしてはいけません。

ア、酒に酔ってふらついたり、

立ち話をしたり、すわったり

寝そべったりなどして交通の

妨げとなること。

イ、交通量の多いところでキャ

ッチボールなどをするこ

ウ、道路に向けて物を投げたり

発射したりすること。

エ、走っている車や路面電車に

外からつかまること。

オ、運転者の目をくらませるよ

うな光を道路に向けてること。

カ、凍りつくおそれのあるとき

に水をまくこと。

キ、道路をこわしたり、汚水、

ごみ、くぎ、ガラス片などを

まいたり、捨てたりすること

(2) 道路上に商品などを陳列した

り、土砂、材木など交通の妨げになるものを置いたりしてはいけません。

郵便番号あて先は

正しくはつきりと

郵便番号は、実施以来早くも満二年を経過し、郵便物への記載率も徐々に向上しています。

しかし、せっかく書いていたただいた郵便番号が間違っていたり、あるいは書体や記入方法が不適当なものなども数多く見受けられます。このようなものは、郵便番号の効果をじゅうぶん発揮できないばかりでなく、遅れたり、返送されたりする原因にもなります。

郵便番号を記入するときは、先方からの郵便物や住所録、郵便番号簿などをみて、正確にわくいっばいにはつきり書いてください。

なお、郵便番号自動読取区分機は、現在全国の主要局で活躍していますが、郵便番号は単に機械で区分けするときばかりでなく、人手で区分けするときにもその効果が大きいので、定形外郵便物や小包などを出される方も、また機械の配備されていないところの方々も忘れずに記入するようご協力ください。

また、夏は年末に次いで郵便の

利用が多いシーズンです。暑中見舞の交換などで住所の移転が判明したもの、新住居表示制度が実施されたもの、また正しい郵便番号が判明したものがあつたときは、そのつど住所録を補正するよう習慣づけたいものです。なお、その際は、手紙が遅れたり、届かなかつたりすることのないよう「○○様方」「○○荘○号室」なども省略せず、正確に記入してください。以上のことを守っていただくことによって、郵便物は、迅速、確実に配達されることとなります。

役場からお知らせ

職員異動について

佐井村役場
建設課 技師補 三戸 陞
四七・六・三十・退職
建設課 運転手 大畑 武男
四七・七・一・採用

下北地域広域行政事務組合

佐井消防分署
消防士 上山 智、正村 秀美、
金沢 政仁、大畑 重敏、竹内 孝、石戸 守
四七・七・一 採用

消防常備化について

広報「さい」七月号でもお知らせしました広域消防については、

佐井消防分署に六名採用し、七月四日から三十日まで、むつ消防本部において訓練中です。又、八月から十一月まで二名づつ二ヶ月間にわたって青森県消防学校に於て訓練することになっています。

このようにして、年々出かせぎ等により消防力が弱体化しつつある今日、諸施設の整備とともに消防力の強化が図られてきました。が、住民の皆さんには従来どおりの御協力をお願い申し上げます。

青年研修所の

使用について

各種集会等に使用してきました青年研修所は、八月一日から当分の間、常備消防職員の勤務場所となる関係で使用できなくなりますのでお知らせいたします。

今後の集会等は佐井村商工会及び婦人会にお願し、それぞれの施設を利用するようにして下さい。

佐井村消防団

幹部決まる

本 団 副団長 島野 利勝
分団長 若山 友衛
副分団長 畠中 猛
部 長 宮川 勇二
班 長 宮木 清一
班 長 松谷 勇助

第一分団	分団長 竹内 勇吉	第六分団	班 長 大石 義照
〃	副分団長 川岸 稔武	第七分団	分団長 田中 太吉
〃	部 長 若山 菊雄	〃	副分団長 内藤 清美
〃	〃 奥本市三郎	〃	部 長 田中長次郎
〃	〃 山本 正	〃	〃 田中徳太郎
〃	〃 内田 慎一	〃	〃 田中 正行
第二分団	分団長 和田 喜一	第八分団	分団長 坂井 吾一
〃	副分団長 横浜 正一	〃	副分団長 坂井 文雄
〃	部 長 横浜 松雄	〃	部 長 坂井 房雄
〃	〃 宮川 勉	〃	〃 宮部 三郎
〃	〃 福田岩五郎	〃	〃 竹内庄次郎
〃	〃 金沢 清士	〃	〃 坂井 重雄
第三分団	班 長 池田 保雄	〃	〃 竹内 重雄
〃	〃 万谷 石雄	〃	〃
〃	〃 池田 保雄	〃	〃
〃	〃 万谷 石雄	〃	〃
〃	〃 木部 文夫	〃	〃
〃	〃 佐藤 清市	〃	〃
〃	〃 万谷 増夫	〃	〃
〃	〃 佐藤 政治	〃	〃
〃	〃 佐藤 義一	〃	〃
〃	〃 川畑 春義	〃	〃
〃	〃 川畑 敏雄	〃	〃
〃	〃 川畑 清江	〃	〃
〃	〃 宮木 正三	〃	〃
〃	〃 宮川福五郎	〃	〃
〃	〃 東出 昇	〃	〃
〃	〃 田中 武雄	〃	〃
〃	〃 田中 正勝	〃	〃
〃	〃 新田 常雄	〃	〃
〃	〃 横浜 幸吉	〃	〃
〃	〃 新田好右衛門	〃	〃
〃	〃 田中 長七	〃	〃
〃	〃 池田 定一	〃	〃
〃	〃 大石 義一	〃	〃
〃	〃 嶋 勇一	〃	〃
〃	〃 大坂 隆	〃	〃

村政の窓口

六月二十七日 消防職員採用選考会
七月一日 センター、庁舎落成委員会
七月十一日 漁港管理会
七月十二日 佐井村振興計画審議会
七月十四日 消防施設整備事業（水漕）入札
福浦、原田が百五十万で工藤建設落札、磯谷が七十五万で細川建設落札
農業委員当選証書附与式
佐井村章最終審査会
七月十七日 定例議会
七月十八日 定例議会

戸籍の窓口

七月二十四日現在
◎お誕生おめでとう
葛西千詠美（岨 輔）大佐井 磯川 孝之（政太郎）磯谷 菊池今日子（勝利）大佐井 荒川真理子（政 勝）大佐井 竹内 朋子（長次郎）牛滝 万谷 朋子（栄 一）原 田
◎ご結婚おめでとう
附 本 守 克（六戸町）
奥 中 慶 子（大佐井）
田 中 里 志（磯谷）
岡 田 もと子（木島平村）
津 根 昭 紀（松山市）
津 田 信 子（大佐井）
落 合 政 雄（砂原町）
万 谷 政 夫（原 田）
神 谷 登 子（大東市）
能 原 洋 子（古佐井）
市 原 良 子（邑智町）
木 下 智 子（長 後）
白 藤 勢 子（古佐井）
伊 藤 歳 子（江東区）
福 藤 勉 子（古佐井）
工 藤 晃 子（大佐井）
松 谷 晃 子（大佐井）
田 中 光 雄（大佐井）
長 尾 千 恵 子（青森市）
奥 山 重 行（野 平）
小 倉 時 子（今 別 町）
本 村 信 子（長 野 市）
中 村 信 子（古 佐 井）
福 本 俊 克（大 洗 町）
奥 本 俊 克（大 洗 町）
正 村 秀 美（大 佐 井）
金 伍 秀 美（大 佐 井）
安 達 京 子（函 館 市）
磯 貝 京 子（古 佐 井）
◎ご逝去おくり申しませす
磯川 より（松夫方）磯谷